

# 論 文 要 旨

氏 名	島 義人
タイトル (日英併記)	CMC-Na と P(VM/MA)による義歯安定剤の水中における レオロジー的性質の変化 (Rheological properties in water of denture adhesives produced by CMC-Na and P(VM/MA) )
論文の要旨 (日本語で記載)	
<p>歯科医師の多くは、不適合義歯装着患者に義歯安定剤を使用することを好まなかったが、近年その有用性が報告されるようになってきた。</p> <p>本研究では、市販4種の義歯安定剤 (New Poligrip Additive Free Cream, Polident Neo, Tough Grip cream, Correct XZL cream) の水中における粘着力を参考に、基材であるカルボキシメチルセルロースナトリウム (CMC-Na) とメトキシエチレン無水マレイン酸共重合体 (P(VM/MA)) の配合比を変えた6種類の試作試料を作製し、PMMA板に対する空気中および水中における粘着力、水中における弾力性、応力緩和試験による相対応力 (<math>f_t/f_0</math>) の経時的变化およびサンプル作製直後の粘性係数について検討した。</p> <p>その結果、CMC-Naの割合が増加するにつれて、初期の粘着力は若干低下するが、高い粘着力と弾力性を長時間持続でき、粘性係数は増加することがわかった。</p> <p>このことより、CMC-Naの割合が多い義歯安定剤を臨床使用した際には、義歯安定剤が厚くなってしまふということが推察された。本研究の結果から、義歯安定剤の水中でのレオロジー的性質が明らかとなり、新材料開発の有益な情報が得られた。</p>	